

令和4年3月24日  
第1回青少年問題協議会 資料1-1  
(令和4年2月10日  
第1回ユースワーク推進部会 資料)

# 本市のユースワークの取組み状況と その成果及び課題

# 尼崎市（行政）のユースワークに関する事業



ユース交流センターが中心（指定管理制度を導入）。ネット完備のオープンラウンジや180人収容可能なホール、バンド練習に適した音楽スタジオ、イベント会場にも利用できる多目的室、図書コーナーや自習室、指定管理者が運営するイベントなど、さまざまな活動をサポートする環境が整っている。

# 1. ユースカウンスル

- 事業内容

若者が地域の諸課題や自分たちが直面する課題、その解決策について、意見を表明し、尼崎市に提案していくことを目的とした若者たちの活動。ユース交流センター（指定管理）で実施。



# 1. ユースカウンスル

- 取組状況

令和3年度は0期生が活動。自分たちが過ごしやすいまちづくりについて考え、また若者たちの声を大きくするにはどうすればいいのか、どのようにすれば社会に反映していけるのかを考え、活動内容も参加者自身が決めて取り組んできた。

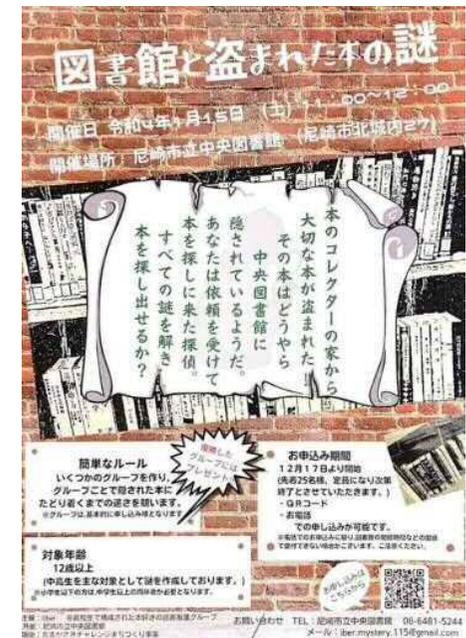
行政は、若者と担当課との会議の場をセッティング。

8月には報告会を開催し、市長や教育長、行政職員（各課長等）が参加。



# 1. ユースカウンスル

- ・ 成果（以下は一部）
  - ・ 尼崎市にスケボーパークを設立することを目指し、市長やボートレース事業部職員と若者がスケボーパークの視察へ。
  - ・ 私（若者）が利用しやすい図書館を作ること为目标に、若者が考えたイベントを図書館で実施。



## 2. 青少年木育等推進事業

- 事業内容

地球温暖化防止等の環境問題を学ぶ活動を通じて、森林や木製品の良さや利用意義を学ぶことを目的とした事業。



## 2. 青少年木育等推進事業

- 取組状況

例年、国産の木材を活用して〇〇〇を作る製作ワークショップを実施。今年度は、青少年とスケボーのセクションを製作。ワークショップは青少年だけでなく、地域の誰でも参加できるものとしたので、地域のこども、大人が参加し、様々な年代の住民が交流。

行政は、イベントの企画、広報や製作ワークショップの講師の調整等を担当。作るものや当日の進行は若者が中心に運営。



## 2. 青少年木育等推進事業

- 成果

製作したセクションを用いて、青少年が別の公共施設で、スケートボード体験イベントを定期的に行っている。イベントには小さい子から大人まで参加しており、青少年がスケートボードの乗り方、滑り方を教える。



### 3. ヤングケアラー支援事業

- 事業内容

ヤングケアラー支援のため、当事者同士が交流できる居場所の設置を行う。居場所では支援者団体による相談・支援を行う。

- 取組状況

令和4年度から主要事業として実施予定。

※ただし現在もユース交流センターやSSW、CSW達等、有志でイベントは実施している。



## 課題（意見交換したい事項）

ユースカウンシルに  
参加した若者に対しての  
行政のその後の関わり、  
立ち位置について